

寒川町文化連盟2024年度の総括

文連だより 第43号 総括編-1

発行 令和7年3月31日
寒川町文化連盟
会長 田中秀昭
神奈川県寒川町倉見2-01-20
☎0467-75-7745

1. 会長挨拶



寒川町文化連盟
会長 田中秀昭

日頃、寒川の文化推進・継承にご理解とご協力を頂き、文化連盟傘下の各団体及び町関係機関に対し心から敬意と感謝を申し上げます。さて、今年度を振り返ってみますと、案件の『本部役員改選』は、現役員体制は2020年4月から継続、本来なら改選期に改選すべき所、コロナ禍(約3年)でそのタイミングを逸し、2024年3月(改選期)に役員2名の改選を理事会に付議したが、纏まらず2025年3月の理事会に改めて付議、理事間で「互選」で2名選出して頂きました。改めて理事各位のご協力に感謝申し上げます。新たな役員人事については、2025年4月の理事総会に付議する次第です。事業については、本部事業『第10回さむかわ文化ふれあいデー』は、参加した12団体の知恵と工夫を凝らした催し、恒例の「メダカ・風船のプレゼント」、「児童へのお土産」と昨年好評の「ミニ鉄道の運行」の企画に加え、「紙芝居」を用意しPRにも力を入れました。猛暑日にも拘わらず多数の来場者(親子連れ)があり、一応の成果が見られたかと思えます。

文化連盟傘下団体の活動紹介、「地域の先生」としてのお手伝いの申し入れ等を行いました。

「小・中学校の文化的行事」へは、小学校のPTAまつり、中学校の文化行事に許された学校へ役員手分けして参観を行いました。

『第55回町文化祭』は、式典後の「ヤングダンスフェスタ」を皮切りに、参加各団体が舞台、展示、実習、大会で日頃研鑽の結果を発表、ただ、突然の衆議院選挙のため、会場縮小の憂き目にあつた団体もありました。今回、特別参加の中学生による「お茶席」の不参加は残念でしたが、中学生の「芸能舞踏会」に参加や「音楽祭」でのお琴・吹奏楽演奏及び一般の音楽(器楽、合唱)サークルのエントリーは、文化祭を盛り上げ町民参加の文化祭の在り方の一面を感じさせてくれました。

『傘下団体の会員増強』の課題では、コロナ禍の3年間の影響は各団体には高齢化による会員減少に追い打ちとなり、現状維持も大変だったかと思えます。

しかし、文化活動の継続、継承には「会員の増強」は必須です。改めて「仲間を増やす」に工夫等努めて頂く様お願い申し上げます。頑張りましょう!!

終わりに、少しでも各団体の文化活動のPR等で会員増強の一助になればと「文連だより」、「アルバム文連だより」を発行し、各団体の活動内容をお届けするものです。

2. 2024年度新理事の紹介

2024年度は新理事に福岡 逸子 理事(寒川茶道同好会)、石黒 三博 理事(寒川町祭ばやし保存会連合会)の2名が交代されました。



福岡 逸子 理事



石黒 三博 理事



土館 静可 前理事
(寒川茶道同好会)



小澤 宏史 前理事
(寒川町祭ばやし保存会連合会)

新任の理事

交代の前理事

3. 本部活動状況

寒川町文化連盟主な活動と日程(会議、その他)

- 2023年度会計監査実施/4月8日
- 第1回理事会/4月8日
- 2024年度理事総会/4月20日
- 第1回実行委員会(第55回文化祭)/5月23日
- 第4回理事会(ふれあいデー関係)/6月3日
- 第5回理事会(ふれあいデー関係)/6月19日
- 第2回実行委員会(第55回文化祭)/7月3日
- 第10回さむかわ文化ふれあいデー実施/7月20日
- 第3回実行委員会(第55回文化祭)/8月5日
- 第15回校長会懇談会/8月26日
- 第55回寒川町文化祭実施(主管)/10月5日~11月4日
- 第55回寒川町文化祭会計監査実施/12月4日
- 第4回実行委員会(第55回文化祭反省会)/12月13日
- 第8回理事会(2025年度本部役員人事選出)/3月10日



第4回理事会/6月3日
「第10回さむかわ文化ふれあいデー」の打合せ
新企画、課題等を明確にしておく。



人気の「ミニ電車」



第15回校長会懇談会/8月26日旭小学校校長会に時間を頂き、文化連盟からは活動内容と文化祭日程を紹介、学校からは文化的行事に関する情報をお聞きました。文化的行事は後日、役員を主に参観と記録用の目的で撮影を行った。



自作の俳句を色紙に表現!

寒川中学校文化的行事「紺碧祭」/10月18



第2回文化祭実行委員役員会/7月3日
日程、時間帯の調整、広報原稿、報告書の要式、式典イベント状況など、事前の打合せ。

第10回さむかわ文化ふれあいデー/7月20日
「見る、知る、体験する」を実践して貰う事業に連盟傘下の団体と賛同頂いた地域のサークルの皆様が参画。ミニ電車、メダカ・パルーン配布、新規企画として「紙芝居」「俳句」「似顔絵・静物画の実演」など15の催しを実施。

第55回寒川町文化祭式典/10月5日
キャッチコピー表彰者と来賓及び主催者の記念撮影。



後列 大川 教育長 木村町長 天利 議長 山本 県議
前列 新倉さん 鈴木さん 日比さん (吉原さんはご欠席)

4. 2024年度団体活動状況(裏面も)

2024年度各団体活動をもとに「文連だより43号」と「文連だより44号」を総括編として編集致しました。今後の編集をより充実するため、皆様の活動情報等の提供をお願い致します。

野ばら文化会(詩 短歌) 勉強会第4日曜日午前中開催(南部文化福祉会館)

定例勉強会「短歌」講師 杉本 照代 先生
2024年度の短歌(令和7年1月号を掲載)



宮治 友美枝理事



いとほそきほそき月浮く天空のただしんんと静謐なれる
七早の朝ふる雨地に生きふ命つみてやさしかりしよ
銀ねずの匂につつまれ辛夷芽のつんつんと大空目差す
杉本 照代

書かた澄み渡る空にさざ波の様な雲の流るる
気がつけば今日は早やもクリスマス装束も書けずどこを生きてか
首飾に二に抜かし身長に嬉し悲鳴相母九十すぎ
山根 喜美代

今年も行く茅ヶ崎海岸の初日の出富士も輝き良き年祈る
義妹よりラインメールで届きはタイヤモンド富士の初日の出なり
太き枝切り落とされし楓梅の細枝に吹ける花愛おしい
宮治 友美枝

師走きて富士の頂白くなる暮さに慣れた身が引きしまる
友が逝く幼な頃より続く縁フツツンとなり南無阿彌陀仏
理容店鏡にうつる自顔みて髪型問われ思案迷速
二宮 昭雄

初日の出あつというまに顔を赤らめあかき燃えてやわせもらう
新年の皆元気で乾杯し体に気を付けてがんばらうと
すずめ連屋根の上よりえさめざしチュンチュンとあいさつをする
土屋 トミ子

嫁ぐ娘と縁側並し母の背はまるきやさし風雪しのぶ
花巻の梵と名付けし宿のあり冬の夕焼け梵天祈る
惘然と竹林の月舌に燦り白頭悲し煩悩光る
清水 洋一

大晦日暮物するの悩みつづいざ初めたら見事仕上がる
雨戸ひく令和七年初日の出極やかなりし平和なる朝
小寒の北風が吹く梅の木に小さな雷多き多きつる
徳江 道子

手の甲の皺は八十路の歴史かな過ぎし日々をしみじみ思う
急ぎ足ふと立ち止まる書道の泰然自若の富士を仰ぎて
転倒の便り聞きし昨日今日明日は我が身か足踏みしめる
小林 篤子

今年又、あつと云う間に師走なり重なりし歳暮き戻したき
まさか我八十路半ばを過ぎしまで続けられると思わぬテニス
誘われてテニス始めて二十年頭痛腰痛すつかり忘る
亀山 文子

フラダンス八十路すきての挑戦を運動不足認知予防に
晩秋の陽に燦々と照らされし頂きし菊咲き誇りいる
露天風呂眺むる空は西色黒き影すり鳥飛ぶ
福垣 武子



清水 洋一 徳江 道子 小林 篤子 亀山 文子 福垣 武子

